

D—13 職業別家事労働実態および家事労働意識 —農家・商家・勤労世帯の比較—

愛知教大家政 ○渡辺みよ子
奈良女大家政 北村 君

1. 家事労働の動向ひいては主婦の生活動向を探る一指標として、家事労働に対する主人と主婦の意識および家事労働実態に影響をおよぼす家庭生活条件などについて分析を試み、第17回総会においては農家の場合について報告したので今回は商家・勤労世帯の概況および農家・商家・勤労世帯の職業別比較について報告する。

2. 調査対象は商家・勤労世帯についても農家の場合と同じく奈良市内にある、それぞれ120世帯の主人・主婦である。調査法は主として面接調査法を採択した。

3. 家事労働に対する家庭生活運営上の意義意識については、いずれの職業においても“他の職業労働と同等の意義あり”と積極的に認めるものが主人・主婦ともに多い。しかし、農家の主婦のみは“意義は認めるが他の職業労働ほどではない”と消極的にしか認めないものもかなりある。

しかも専農の主婦においてはこれからの主婦の理想的生活についても他のグループがすべて“家事中心”を望むものの割合が多いのに比し、“家事中心”“家事と職業の両立”“職業中心”を望むもの3者の間に有意差がない。これらのことより農家の主婦は商家・勤労世帯の主婦に比し家事労働をそれほど高く評価していないといえる。

また、総家事労働時間を左右する家庭生活諸条件については、いずれのグループも家族人数が大きな要因としてあげられる。